

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2014年1月1日

124号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

2014

平成26年

謹賀新年

レダ埠頭から望む、南米の国際河川パラグアイ川



パンタナールの水辺で遊ぶ馬たち

南北米福地開発協会会長
二〇一四年元旦

飯野貞夫

あけましておめでとうございます

皆様の内外の篤いご支援のお陰で、今年も希望の新年を迎えました。

中国のPM2・5等による空気汚染は深刻で、日本にも影響が徐々に押し寄せてきています。このことに象徴されるように、今やどの国も一国の問題が一国でどまらず、地球全体に影響を与える、異常気象を頻繁に起こしています。国連や各国政府だけでなく、ひとりひとりの自覚が求められています。

私達は自然環境保護を訴え、対策に取り組み実践して来ました。パラグアイにおける植樹活動だけでなく、今年は国内の被災地をはじめ、日本の全国各地で地域活動を広げていきます。その為、研修会や講演会などの啓蒙活動と共に、実践活動を通して、支部組織化と会員拡大を進めて行く予定ですので、皆様の一層のご協力をお願い申しあげます。

また、昨年五月三日に現職のフランコ大統領一行をレダにお迎えして成されたパラグアイ川へのパク稚魚放流式典は、私たちだけでなく、チャコ地方にとても、国家にとつても、画期的出来事として歓迎されました。アスンシオン大学との協力連携は今も続き、去る十二月にも、再度孵化を成功させ、今後百万匹の稚魚放流を目指しています。本年の第十四回国際協力活動も一層国際色を高めて、日本、パラグアイ、ブラジルの青年達に加え、米国の若者達も合流する予定です。今年も皆様のご多幸を心より祈念申しあげます。

2013年、レダ基地では



人工孵化成功の喜びを表現するレダ基地スタッフ



パクーの稚魚を放流

パクーの稚魚を育てるなどして
大きな努力が
結びました。



養殖池で優れた親魚を選定する作業

★パクーの大量人工孵化に初成功
一月二三日、パクーの大量孵化に成功しました。三月初めには体長約5cmの稚魚に育ち、順調な生育ぶりがうかがえました。この成功は、先住民コミュニティでの完全ローカル養殖、パラグアイ川への放流、低コスト養殖技術の普及などの実現に向けて取り組んでいました。指導をしてくださった、アスンシオン大学のマグノ教授を再び迎えた十二月、さらに多くの受精卵を孵化することにも成功しました。今回生まれた仔魚の数は、推定で二十万匹ないし三十万匹です。優れた親魚を育てるなどしてスタッフのたゆみの努力が大きな実を結びました。



大統領がレダ基地にて記念植樹

デリコ・フランコ大統領が、パラグアイ共和国の大統領として初めてレダ基地を訪れました。そしてパクーの稚魚放流式典の主賓として、チャコ地方最初の養殖



河畔で放流式に臨む大統領(手前)

大統領が、パラグアイ川に放流しました。放流式典には、農牧省大臣と副大臣、環境省大臣、および警護スタッフが大統領に同行しました。

★大統領を迎えて稚魚の放流式

フランコ大統領は、かつて州知事時代に淡水魚の養殖を指揮した経験があります。また、パラグアイおよび南米大陸の今後の発展の鍵はチャコ地方にあるとの考えから、南北米福地開発協会の事業活動に、率直な喜びと感謝を述べられました。この大統領の熱のこ



折り紙教室の真剣な眼差し(トロパンパ村)



トロパンパ村の小学校にて住民たちとお別れの朝

ア隊が精力的に活動
五月三日、フェデリコ・フランコ大統領が、パラグアイ共和国の大統領として初めてレダ基地を訪れました。そしてパクーの稚魚放流式典の主賓として、チャコ地方最初の養殖



ミンガグアス市の高校生と共に植樹活動

ア隊が精力的に活動
八月二二六日から九月十一日にかけて第13次国際協力青年奉仕隊が活動しました。パラグアイ国、チャコ地方過疎地トロパンパ村、マリア・アウシリアドーラ村、アナ村への環境保全活動、そしてディアナ村への教育支援と伐採し、都過去に森を造つたアルト・パラナ州ミンガ・グアスガの再開発に参画・協力をしました。

★創造力を發揮した日本の青年たち

五月中旬から約二ヶ月、

ドラム缶を利用して燻製器を開発

を用い、創意工夫をこらして研究開発しました。今後も彼らに続く青年やシニアたちがレダ基地に中長期で赴任し、優れた產品を育ててくれることが望まれます。



★レダ産パクーと豚の販売が好評

レダ基地で養殖した。パクーと、

のびのびと暮らす豚ランドの豚たち

豚ラン
ドで育
成した
豚とを
国際航
路の船
舶や、
ティー
ました
好評を
質と美



ゴイブル副大臣(左から二人目)

はすべての写真をしつかり取つておくように、大統領や国の指導者たちに見せないといけないからと言われたのです。

ゴイブル副大臣は、牧畜、養殖部門のパラグアイにおける実質の最高責任者です。

★農牧省副大臣がレダ基地を訪問
十一月十日、ゴイブル農牧副大臣が、訪れました。まずはプールや建物に感銘の継続的な活動に目を見張つて調べて

掲げていて、中でも先住民のための支援対策は重要な課題であるので、政府と私たちが色々協力できたら良いと言わされました。そして私たちがその地域に実際に住んで活動していることをとても高く賞賛してくれました。



アファラ副大統領に活動を報告

九月十八日、パラグアイ共和国新政権のファン・

★パラグアイのアフアラ副大統領と会見

九月十八日、パラグア



レダ基地第2農場のサトイモ田

★飯野会長夫妻がレダ基地に
長するので、よい結果を期待しています。

★飯野会長夫妻がレダ基地に

プレゼントを配る飯野会長夫妻

、二月と十月の二度
にわたり、レダ基
地の活動現場を視
察・協議しました。
過酷な自然環境の
中で献身的に活動
しているレダの全
員に、日本の皆様
方支援者の心も併
せて届けました。

、二月と十月の二度
にわたり、レダ基
地の活動現場を視
察・協議しました。
過酷な自然環境の
中で献身的に活動
しているレダの全
員に、日本の皆様
方支援者の心も併
せて届けました。

当協会の飯野会長が、二月と十月の二度にわたり、レダ基

★飯野会長夫妻がレダ基地に
も無く、高温に強く（水温の
高さは影響がない）順調に生
長するので、よい結果を期待して います。

A woman in a pink hoodie is holding a large, root-filled plant specimen, likely a taro root, used for experimental cultivation. The plant has a thick, brown, tuberous root system with some green foliage at the top. She is standing in front of a white wall.

農業分野では、水耕栽培に更なる力を投入していく。

南北米福地開発協会スタッフ会議開催

十二月六日、テクノ川崎の会議室にて、スタッフ、及び有志の方々で、活動方針をテーマとした会議を行いました。

午前中は、二〇一三年までの南米レダでの活動の総括を、飯野会長から報告がありました。今後、二〇二〇年までを区切りとして、七年で自立できる基盤をなすことを目指し、活動していくことになるので皆の総力を上げて行きたいと語られました。その後、レダ基地担当者からの各プロジェクト毎の計画案も報告され、その上で、質疑応答の時間を持ちました。

午後は、柴沼事務局長から、二〇二〇年までの日本における活動と目標について、提案と説明があり、質疑応答が活発に行われました。今後は南米における活動への支援とともに、日本での活動を強化することを確認しました。

① 今日まで事務局を中心として活動を進めてきましたが、今後は支部体制を固め、会員を中心とした地域活動により力を注ぎ、植樹活動や環境問題、食糧問題、人口問題などをテーマに、研修会、研究会、講演会、親睦会など様々な活動が展開していくことになります。

- ② 南米への支援は継続し、特にレダ基地からは、技術の経験や知識のあるシニアの方を送って欲しいとの強い要望がありますので、是非、素晴らしい人材を発掘していきたいと思います。部門は機械・電気、牛、豚、養殖、農業、林業等です。また、世界
- ③ 今後の当会の展望

学生に国際貢献の重要性を訴える講演会



福岡における講演会で学生達に語る柴沼事務局長

『魅力的な南米レダの話に惹き込こまれ、誰も私語することなく熱心に聞いていたのが印象的でした。終わった後、何名かより実際にどうやつたら南米に行けるのかという質問があつたほど、多くの学生たちの心に深く伝わった内容だつたと思います。』とのコメントがありました。

講演会を企画した都氏からは、毎年行われている国際協力青年奉仕隊を支援するため、切手、はがきの収集を行つてくれている学生たちが集まり、南米での活動を報告する集会を十二月一日、福岡にて柴沼事務局長が行いました。百名ほどの学生が集まり、地球の裏側での活動に熱心に耳を傾けておりました。

② 南米への支援は継続し、特にレダ基地からは、技術の経験や知識のあるシニアの方を送つて欲しいとの強い要望がありますので、是非、素晴らしい人材を発掘していきたいと思います。部門は機械・電気、牛、豚、養殖、農業、林業等です。また、世界

③ 今後の当会の展望

日時 二〇一四年三月二一日(日)
場所 大山街道ふるさと館
JR南武線・東急田園都市線、
溝の口駅から徒歩七分
参加費 二〇〇〇円
(資料代と昼食込み)

お申し込み、お問い合わせは、下記の事務局まで。

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話 044-829-2821
FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座
10180-77680471

Eメール : office@asd-nsajp
ホームページ : <http://www.asd-nsajp>

地球家族として
自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員募集中



活動方針を話し合う参加者たち(テクノ川崎)

会員登録は月五〇〇円です。毎月、パンタナール通信をお送りします。また、各種のセミナー、エコツアーや林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会員登録は月五〇〇円です。毎月、パンタナール通信をお送りします。

また、各種のセミナー、エコツアーや林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。